

<新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業（2026年度）>

含窒素廃液を原料とした電解アンモニア合成による分散型水素キャリア製造技術の開発

1. 事業概要 (水素燃料電池利用促進分野、フェーズB)

【内容】「安定的な水素及び水素派生製品の製造、貯蔵・輸送、利用に資する技術」の中でもアンモニア合成の技術を開発する。原料として、窒素を含む廃液を利用する。
【背景・経緯】含窒素廃液の電解によりアンモニアを合成、有価物化を図り、現場での水素キャリア利用を促進する。
【狙い、波及効果】アンモニアを利用し、含窒素廃液を保有する現場における窒素の再利用を促進する。特に、アンモニアを水素キャリアとして用いている現場で実装する。
【事業化】装置販売・レンタルを通じた事業化を見込む。



2. 株式会社QioN

本社所在地	大阪府
設立／資本金	2024年 / 300万円
従業員数	8 名（西暦2026 年 9 月現在）
事業内容	電解質膜ならびにそれを用いたデバイスの研究開発

3. その他機関

機関名：国立大学法人京都大学

- ・ アンモニア合成触媒の開発・改善を担当